

# よもやま話

分水良寛史料館には県内外からいろいろな人が訪ねてくる。時には示唆的なヒントを与えてくれる人もいる。

先日終了した「狩野梅笑と有願」展の折、梅笑の「かつぐ人」（仮題）を展示した際に、その絵は農夫が薪を背負って歩きながら読書している図柄なのだが、見た人がこの絵と同じものが江戸期の新潟の画家・五十嵐俊明にもあると教えてくれた。「朱實臣負薪読書図」という絵で、二宮尊徳の「負薪読書図」のルーツになったものである。狩野派に伝統的な面題である。

俊明は若い頃江戸で狩野吉信に師事している。二宮尊徳はかつて「二円紙幣」の肖像画に使われており、その紙幣が史料館に展示されている。また、かつて各地の小学校に建てられていた尊徳の像で読んでいる本は「大学」で、この本の注釈を亀田鵬斎が書いていて、これも史料館にある。

最近亡くなった歴史探偵半藤一利は子どもの頃、尊徳の像を一つ一つ見て歩き、読んでいる本の題名を調べたそうだが、さて史料館の庭にある良寛座像の良寛が読んでいる本は何でしょうか。

※朱實臣：前漢の人。薪を売りながら努力し、高位についた。



分水良寛史料館  
☎0256・97・2428  
(月曜日休館)  
■入館料  
大人300円、学生200円、小中学生100円 ※団体割引あり



## 大河津分水コラム 次の100年に向けて

### 「補修工事の石碑」

NPO法人信濃川大河津資料館友の会

理事長 氏田公基さん

大河津分水に建立されている石碑の中で、ひときわ目立つ石碑が信濃川補修工事竣工記念碑です。ちょうど90年前の、昭和6年6月に建立されました。

補修工事とは、昭和2年に陥没した自在堰の代わりとなる堰（現在の旧可動堰）と、川底が洪水のエネルギーで削られないようにする床固を建設する工事で、洪水や洗掘にも耐えられる頑丈な堰をわずか4年で完成させました。

この石碑に、補修工事の責任者であった青山士は「萬象ニ天意ヲ覚ル者ハ幸ナリ」「人類ノ為メ國ノ為メ」と言葉を刻みました。この言葉は信濃川大河津資料館に掲示しているほか、分水公民館、民間企業でも見ることが出来ます。棟方志功が感動し、版面に彫った言葉としても有名です。言葉の意味はさまざまな解釈があり、興味のある人には説明させていただきますので、ぜひ信濃川大河津資料館にいらしてください。



▲陥没した自在堰の形を模した石碑

▼「萬象ニ…」



▼「人類ノ…」



## 地域おこし協力隊の奮闘日記 vol.39



協力隊スポーツ担当の久保さん(左)と一緒に♪



燕市地域おこし協力隊  
青川 紘子

去る4月17日に燕さくらマラソン大会が開催されました！私もスタッフとして現地におり、無事に終わることができてホッとしました。当日、桜は散っていましたが…菜の花が色鮮やかでキレイでした♪

今回、印象的だったのは、会場に手話通訳者が設置されていたこと。手話通訳が必要な人の参加を歓迎する環境が燕市には整っており、これは燕市の魅力の一つだと思います。私自身、マラソンやトライアスロンなどさまざまなレースに参加してきましたが、ここまで手厚いサポートがある大会は多くありません。また一つ、燕市の良いトコロを発見できました！ここ数年、趣味で学んできた手話が来年の大会では少し役に立てると良いなと思います。



「広報つばめ」だけでは物足りないあなたへお送りする「Web版カメラびゅう」  
[https://www.city.tsubame.niigata.jp/keikaku/koho/2\\_1/index.html](https://www.city.tsubame.niigata.jp/keikaku/koho/2_1/index.html)

## camera view

●市内の出来事や、頑張っている皆さんの姿を紹介するコーナーです。



選挙の大切さを  
学びました  
●4月27日 小池小学校

6年生向けに選挙の出前授業を開催。選挙の意義や種類などの説明を受けたのち、実際の投票箱や記載台を使用した模擬投票や、投開票の事務を体験しました。



減塩メニューで  
いただきます！  
●4月20日 松長小学校

この日の給食は、「減塩愛ディア献立」。切干のごまネーズ和えは、マヨネーズのコクとごまの風味でおいしく減塩！みんな、しっかり食べて元気に過ごしてください～！



ライスファーム  
プロジェクトが始動  
●4月27日 市役所南側水田

毎年恒例となったスワローズ・ライスファームプロジェクト。つば九郎からお手製の看板も届き準備万端。秋の「つば九郎米」の収穫が今から楽しみです！



森林浴で  
心と体をリフレッシュ！  
●4月23日 国上山

外出自粛に気づかぬうちにストレスが溜まっていますか？国上山で季節の山野草を眺めながら森林浴、適度な運動で心身ともにリフレッシュしてみは！



ふるさと燕は  
応援し続けます  
●4月28日 (株)新越ワークス

3回目の緊急事態宣言に伴い、対象地域で頑張る燕出身の学生たちに応援物資を送る。つば九郎米(燕市産コシヒカリ)・もとまきゅうり・給食スプーンを300人以上に届けます。



図書館に  
お泊まりしました  
●4月24日 市内各図書館

大好評イベント「ぬいぐるみおとまり会」。お気に入りのぬいぐるみとしばしのお別れです。この後ぬいぐるみたちは図書館の仕事を一生涯懸命に手伝いました。



ペペルトラックが  
やってきた  
●5月9日 燕市交通公園

絵本「えんとつ町のペペル」の原画を載せたトラックが登場。光るイラストパネルに子どもから大人まで、「きれい～！」と目を輝かせていました。



燕の子どもたちに本を  
寄贈いただきました  
●4月26日 燕市役所

燕商会議所青年部のみなさんから、渋沢栄一絵本35冊を寄贈いただきました。子どもたちに読んでもらえるよう市内の小学校や図書館などに所蔵しています。